

## ■理事会 Report

# JWPA Wind Vision Report

## —真に信頼される電源を目指して—

日本風力発電協会（JWPA）では、我が国における風力発電の本格的な導入拡大を実現することを目指して、諸問題を整理・検討し解決のための具体的な施策をとりまとめた「JWPA Wind Vision Report ～真に信頼される電源を目指して～」を2016年2月に策定し、2月29日に報道機関向け発表会を実施いたしました。

JWPAでは2014年6月に、日本における風資源のポテンシャルを算出し、これに基づく中長期の導入目標値を「風力発電導入ポテンシャルと中期導入目標 V4.3(ビジョン V4.3)」として発表いたしました。

一方で、2015年7月政府によりとりまとめられた2030年のエネルギーミックスを巡る議論を契機として、我が国の風力発電の現状と将来については様々な課題が提起されました。

こうした背景の下、JWPAでは2030年に焦点を当てて、「ビジョン V4.3」の実現に向けた諸課題を整理・検討し、問題解決に向けた具体的な対応や施策を「ウィンドビジョン」として取りまとめ、Wind Vision Report と題して報告書を策定したものです。

今後は、報告書にてとりまとめた解決策を協会自らが一つひとつ確実に実施するとともに、2年後に予定されるエネルギーミックスの見直しに合わせて、政府など関係先にも働きかけていくことが必要です。また、国民各層が風力発電事業を正しく理解するための広報活動やマスコミ対策、国内外の風力関連団体・機関との連携など、多岐にわたる活動を展開していく所存です。

JWPA ホームページ (jwpa.jp) に報告書本文と合わせ、2月29日の発表会で使用した、概要を説明している講演資料も掲載（抜粋右記）していますので、ご覧ください。

